

みずほCustomer Desk Report 2017/08/31 号(As of 2017/08/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.86 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.77	1.1970	131.41	0.9557	1.2922	0.7960
SYD-NY High	110.44	1.1985	131.70	0.9645	1.2937	0.7996
SYD-NY Low	109.55	1.1880	130.98	0.9539	1.2878	0.7890
NY 5:00 PM	110.24	1.1885	131.01	0.9635	1.2925	0.7899
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.37/8.82		△25RR	0.888	Yen Call Over	
NY DOW	21,892.43	27.06	債券市場	日本2年債	-0.1470	0.6bp
NASDAQ	6,368.31	66.42		日本10年債	0.0110	0.2bp
S&P	2,457.59	11.29		米国2年債	1.3255	1.0bp
日経平均	19,506.54	143.99		米国5年債	1.7167	1.3bp
TOPIX	1,607.65	9.89		米国10年債	2.1309	0.2bp
シカゴ日経先物	19,565.00	90.00		独10年債	0.3590	1.7bp
ロンドンFT	7,365.26	27.83		英10年債	1.0300	3.0bp
DAX	12,002.47	56.59		豪10年債	2.6790	5.4bp
ハンセン指数	28,094.61	329.60	為替市況	USD/CNH	6.5991	▲ 0.0091
上海総合	3,363.63	▲ 1.60		ドルインデックス	92.88	0.64
USDJPY 3M Vol	8.86	▲ 0.04%	商品市況	CRB指数	176.875	▲ 0.66
USDJPY 6M Vol	9.14	▲ 0.04%		NY金	1,314.10	▲ 4.80
EURJPY 3M Vol	8.90	▲ 0.07%		WTI	45.96	▲ 0.48
EURJPY 6M Vol	9.39	▲ 0.05%		Dubai Spot	50.10	▲ 0.13

東京	わアニア時間に北朝鮮の金委員長が「大太平洋を標的にした弾道ミサイル演習を更に実施する」と表明する中、ドル円は安値109.55をつけるも下値は限定的で109.77レベルまで強含んで東京時間オープン。国連安保理で「北朝鮮のミサイル発射は日本への重大な脅威と非難」し、「これ以上のミサイル発射を抑えるよう要求」するとともに「すべての関係国に制裁実行を要請」する内容の議長声明を採択されたものの相場への影響は限定的。その後は高寄りした日経平均株価が堅調に推移し、米債利回りも前日より上昇して推移する環境下ではリスクオフモードとはならず、ドル円は109円台後半でもみ合う。引けにかけては日経平均株価の日足が陽線引ける中、約2週間ぶりに110円台まで上昇。一旦はドルのショートカバに入ったのではないかとこの見方が聞かれた。結局ドル円は東京時間高値110.10をつけた後、110.03レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円ちょうどを挟んで上下動する展開となった。朝方は110.03レベルでオープン、一時的に小幅上昇したものの、ロンドン時間序盤から米株先物が下落し、米長期金利も低下し、ドル円はロンドン時間安値109.83まで下落。その後、中盤から米金利が反転上昇するとドル円もつれ高となり、110.07レベルまで値を戻してNYへ渡った。ポンドドルは1.29ちょうど近辺でもみ合い、朝方は1.2916レベルでオープンした後、ロンドン時間安値1.2897まで下落。序盤からユーロポンドの下落が顕著であったが、ドルが底堅く推移したこともあり、ポンドドルはこのふたつの動きに挟まれ1.29台前半を中心に上下動し、1.2920レベルでNYへ渡った。(ロンドン・メルブリー 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	昨日のNY時間から強まったドル買いが継続し、北朝鮮情勢に対する警戒感が後退したこともあり、海外市場で110円を上抜けて一時110.18まで上昇したドル円は、110.07レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計が23万7000人増と予想(18万5000人増)を上回り、前回分も上方修正されたことに加え、米第2四半期GDP2次速報も構成指数である個人消費や設備投資の上方改訂により+3.0%と上方修正されたことで、ドル円は高値110.44まで上昇。利益確定の売りに110.20近辺まで下押しする局面もあったものの、その後も上値を試す動きが続く。正午過ぎになり、トランプ大統領が法人税は15%への減税が望ましいと発言したことが伝わるものの、具体策は示されずにドル円の反応は限定的となるが、横ばいで推移していた株式市場が上昇する動きに徐々に円売りが強まり、再び110.44をつけた後110.24レベルでクロスした。一方、ユーロドルはドル買い戻しの動きが継続したことから海外市場で上値の重い展開が続く、1.1927レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計、米第2四半期GDPの結果を受けたドル買いに1.1892まで下落する。その後一旦1.1938まで戻す局面もあったものの、ドル買戻しが継続したことから再び1.19を割り込む。午後米ドル買いの流れにユーロドルは安値1.1880をつけた後、1.1885レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月30日	8:50	日 小売売上高(前月比)	7月 1.1%	0.3%
	17:30	英 住宅ローン承認件数	7月 68.7K	65.5K
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	8月 -1.5	-1.5
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	21:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.2%/1.8%	0.1%/1.7%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 237K	185K
	21:30	米 GDP(前期比年率)・2次速報	2Q 3.0%	2.7%
	21:30	米 個人消費・2次速報	2Q 3.3%	3.0%
	22:15	米 パウエルFRB理事 講演	-	-

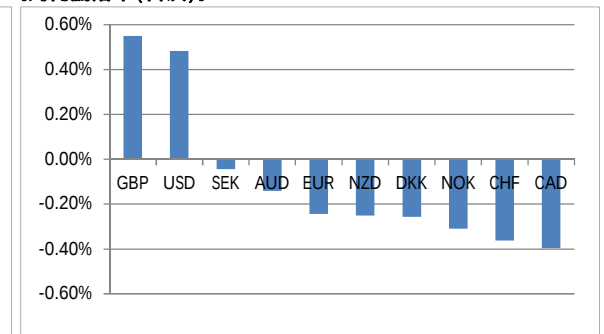
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月31日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	8月 51.3/-	51.4/54.5
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	7月 -0.6%/2.9%	1.4%/1.5%
	16:55	独 失業率	8月 -6K	-8K
	18:00	欧 失業率	7月 9.1%	9.1%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)・1次速報	8月 1.2%	1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	238K
	21:30	米 個人所得/個人支出	7月 0.3%/0.4%	0.0%/0.1%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	7月 0.1%/1.4%	0.1%/1.5%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	8月 58.5	58.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00 - 110.80	1.1830 - 1.1950	130.50 - 131.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、堅調な値動きとなった。北朝鮮情勢の緊張感が和らぎ、リスク回避の地合いが弱まっていたところに、発表された米8月ADP雇用統計が市場予想を上回り、また、米4 - 6月期GDP改定値が上方修正されたことを受けてドル買いが強まり、110.44円まで上昇する展開となった。本日のドル/円は底堅い値動きを予想する。昨日の米経済指標の結果が好調だったこともあり、明日1日発表の米8月雇用統計への期待がドル/円をサポートすると思われる。また、ECBがユーロ急騰を懸念して、ユーロ高を牽制するとの思惑から、一昨日の1.20台から1.18台に下げていることもドルのサポート要因と考えられる。堅調な米国株にも後押しされて、ドル/円は底堅い推移となるだろう。